

BNI 国際シンポジウム

BNI(生物学的硝化抑制)を利用した農業システムでの窒素循環 に関わる諸問題解決に向けて

日時：2016年9月14日(木) 10:00-18:00

会場：つくば国際会議場(エポカルつくば) 中ホール 200

使用言語: 英語(通訳無し)

主催：国立研究開発法人 国際農林水産業研究センター(JIRCAS)

プログラム

10:00 開会挨拶

国際農林水産業研究センター理事長 岩永 勝

基調講演

10:15 BNIテクノロジー - 農業システムでの N_2O 排出削減と施肥窒素利用効率(NUE)
の改善へのポテンシャル

GV Subbarao, JIRCAS

セッション1 地球環境への施肥窒素のインパクト

10:55 1-1 COP 21での温室効果ガス排出に関するゴールに対応するために必要な新しい技術 - 温暖化防止対応型農業は温室効果ガスの排出をどのように削減するのか

Lini Wollenberg, CCAFS, US (ビデオ講演)

11:10 1-2 コムギ生産システムでの窒素損失 - 硝化制御は必要か?

Ivan Ortiz-Monasterio, 国際トウモロコシ・コムギ改良センター(CIMMYT), メキシコ

11:30 1-3 農耕地からの N_2O の発生と緩和技術

秋山博子, 国立研究開発法人農研機構・農業環境変動研究センター

12:00-13:20 昼 食

セッション2 自然生態系での BNI

13:20 2-1 自然草地およびサバンナの系での窒素循環における BNI 機能面からみた生態学的意味

Christophe Lata, UPMC, フランス

13:45 2-2 炭素隔離とブラキアリア牧草の根系からの BNI 物質 - 系での生産性と持続性における相乗的インパクト

I.M. Rao, 国際熱帯農業センター(CIAT), コロンビア

- 14:05 2-3 地中海地域の植物種での生物的硝化抑制 (BNI) 機能の可能性
Cristina Cruz, リスボン大学, ポルトガル
- 14:25 2-4 生物的脱窒抑制 (BDI) – BNI 研究からの継承: N₂O 排出緩和のための新しい展望
Clement Bardon, クロード・ベルナード・リヨン第1大学, フランス

14:45-15:05 休 憩

Session 3 BNI 解析のための手法

- 15:05 3-1 森林土壌での硝化微生物群集の生態学的研究
磯部一夫, 東京大学
- 15:35 3-2 硝化反応のカギとなる酵素の立体構造解析から BNI の作用機構を探る
西ヶ谷有輝・山崎俊正, 国立研究開発法人農研機構・高度解析センター
- 15:55 3-3 BNI 放出機構 - 膜輸送制御の役割
Yiyong Zhu, 南京農業大学, 中国

セッション 4 農業生産での BNI 活用に向けての挑戦

- 16:15 4-1 高 BNI 能コムギ系統開発の可能性 – 挑戦と契機 – CIMMYT の展望
Hans-Braun, 国際トウモロコシ・コムギ改良センター (CIMMYT), メキシコ
- 16:35 4-2 高ソルゴレオン分泌系統開発の契機 – ICRISAT の展望
Stefania Grando, 国際半乾燥熱帯作物研究所 (ICRISAT), インド
- 16:55 4-3 高 BNI *Brachiaria humidicola* ハイブリッドの開発 – CIAT の展望
Michael Peters, 国際熱帯農業センター (CIAT), コロンビア
- 17:15 4-4 環境保全型農業を目指した *Brachiaria*/トウモロコシのシステム – 挑戦と契機
Bruno Gerard, 国際トウモロコシ・コムギ改良センター (CIMMYT), メキシコ
- 17:35 BNI 国際コンソーシアムの紹介
- 17:50 閉会の挨拶
国際農林水産業研究センター理事 小山 修